

名電学園新聞

発行所 名古屋電気学園
愛知工業大学 愛知工業大学短期大学部 愛知工業大学名古屋電気工業高等学校 愛知工業大学附属中学校 同窓会本部
名古屋千種区若水町1 TEL (721)0201・0311

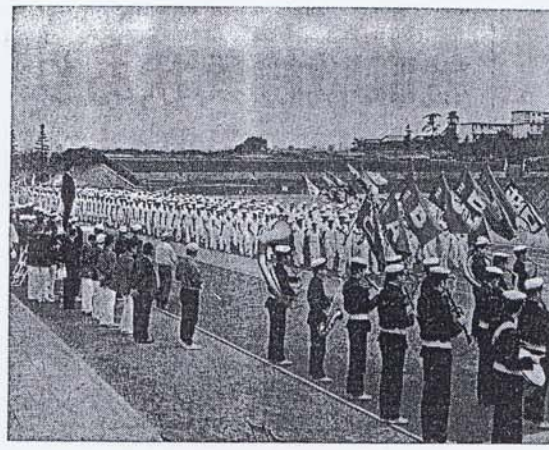
第三十一回世界卓球選手権大会終了

世界の友情

白球が結ぶ



世界卓球連盟会長代理 日本卓球協会会長 名古屋電気学園理事長 後藤鉀二先生



秋の山

愛知工業大学附属中学校 一年A組 岡本健一

秋になると 山の木の葉が 紅くそまる どうして色とりどりに そまるのだろう きっと 冬がくるぞと 教えているのだ

昭和四十七年一月二十三日（日）
第七回 名電工高 プラスバンド定期演奏会
於 愛知県勤労会館

果し得た 親善のかけ橋

後藤訪中ジュニア卓球選手団長帰国



団長後藤厚高校長

初の中日交戦ジュニア卓球大会に於いて、後藤訪中選手団の活躍が話題となり、多くの注目を集めた。...

大会支えた 全国からの浄財

参加五十名、参加費一万六千円、大会費五十万円の赤字を、全国の愛好者から浄財で補った。...

若者

毎年の事ながら、九月十五日の敬老の日を迎える。...

若

九月十五日の敬老の日を迎える。...

果し得た 親善のかけ橋

後藤訪中ジュニア卓球選手団長帰国

会場の九月二十三日より中国各地を訪問して、日本ジュニア卓球選手団長、後藤厚高校長をはじめ、村松大教授、野村先生、選手として本校三年卓球部員、山下直人君ら一行は九月二日、午後八時三十分羽田着キヤセイ航空で帰国した。

昭和四十七年度募集要項

愛知工業大学大学院	修士課程研究科及び募集人員	五名
愛知工業大学短期大学部	電気工学科	五名
愛知工業大学名古屋電気工業高等学校	応用化学専攻	五名
愛知工業大学附属中学校	入学試験	二月二十一日より三月九日迄
愛知工業大学第一部（昼）	試験科目	数学I、国語、英語、理科
愛知工業大学第二部（夜）	試験科目	数学I、国語、英語、理科
名古屋電気工業高等学校	全日制（昼間部）	電気科 三三〇名、電子科 一〇〇名、機械科 一六〇名
	普通科	一五〇名
	電子科	三三〇名
	電気科	一五〇名
	機械科	一六〇名
	応用化学科	八〇名
	建築学科	八〇名
	化学科	八〇名
	物理科	八〇名
	生物科	八〇名
	地理科	八〇名
	歴史科	八〇名
	公民科	八〇名
	英語科	八〇名
	音楽科	八〇名
	美術科	八〇名
	体育科	八〇名
	保健科	八〇名
	家庭科	八〇名
	職業科	八〇名
	特別科	八〇名

母校を

巣立つて四十五年

第二十五回卒業生(大正十五年三月卒)

檀 義 男

同窓会だより

新緑、さつき開きの佳き五月八日、第二十五回卒業生同窓会を行なうの地、吉良吉田、吉良観光ホテル、盛大に開催致しました。

配られた会員名簿は、頗る多量に、四十五年ぶりに喜ぶもの、当時の懐かしい思い出を披露し合うもの、歌合など、はるばる遠方からの参加者が目立っていました。

当初予定してありましたが、岩井先生を始め、山中、小和田、佐野、和田の諸先生が御都合または病氣などで出席不能となりましたことは誠に残念でした。

司会には憚願ながら私がつとめ、習百藤殿、吉良の仁吉の藤所

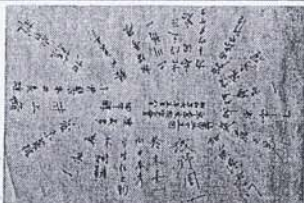
田中静君が現在までの経緯と今を回想し帰路に寄る。

後の予定等について挨拶があり、続いて吉良仁吉の音頭で乾杯を以て、盛大に開催致しました。

配られた会員名簿は、頗る多量に、四十五年ぶりに喜ぶもの、当時の懐かしい思い出を披露し合うもの、歌合など、はるばる遠方からの参加者が目立っていました。

当初予定してありましたが、岩井先生を始め、山中、小和田、佐野、和田の諸先生が御都合または病氣などで出席不能となりましたことは誠に残念でした。

司会には憚願ながら私がつとめ、習百藤殿、吉良の仁吉の藤所



第二十五回卒業生同窓会 於吉良観光ホテル

学園の木づ

四回インタールハイ優勝・高校新記録を樹立した
田盤投げの
石田博君(三M)

生者短難 三年生になつて田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

時代(豊田市) 名電工高 陸上部に入部した。自分でも正直云つて、あれだけ飛んでくれたとは思いません。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。



田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。



長尾正男先生 長尾正男先生 長尾正男先生

長尾正男先生 長尾正男先生 長尾正男先生

長尾正男先生 長尾正男先生 長尾正男先生

長尾正男先生 長尾正男先生 長尾正男先生

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。田盤投げの名人となつた。

学園発展の 60 星霜 称え

— 来秋盛大に記念式典举行 —



名高市の主要な西社に初めてアケガが祀られし、明治が大正に移る頃、後藤三郎氏(現学長の父)により電気講習所が矢張りなうぶえをあげて以来、時代の要求にこたえ電気技術者の養成に邁進して来た本名古屋電気学園もはや来年で満六〇年の誕生を迎えるに至つた。

去る九月、はやくもこの来秋に控えた学園開設以来六〇年の誕生を称えるべく、六〇周年記念式典行事準備委員会が、まれば大学、高校、中学と学園を通じて多彩な行事を準備中である。

卒業生の皆さまも、こつて来校されんことを祈る。

友情の花いつまでも

訪中ジュニア卓球選手団主将 磯貝幸雄君(3E)



(顔と園にて...左、王家客君と私)

この第一回日本の高校生十名の中、中国訪問を足場に四回間の友情の絆は今後益々強められつつある。そこで本誌は選手団主将として見守るの重責を果した名高二高三年の磯貝君にその中国の印象を語ってもらつた。

会場での試合中の大観衆の拍手は味方の中国の選手より我々のプレーヤーの方へ拍手の方がずっと多かった。

日本の会場で中国の選手と試合しているような錯覚を覚えた。

中国の友人が贈りき、一枚の紙切れをポケットから取り出し、その紙に「早く中国と日本がいつても自由行きあそびようになればいいな」といふ彼の言葉がやけに思い出されな。

我々の同行には世界の卓球界の最高峰をいく選手、李選手、林選手など終始本気で奮闘に闘つてくれた。一面の顔面をよく見てくれました。

狂選手なんか試合の台の移動にでも先頭に立ち率先して進んで、「さあ、練習しよう。」と我々にすすんで相手になってくれた。

時には自ら直接相手に手をとり、中国語の前陣の「スロモーション」の再現など、とまごみで目のまえでやってみせてくれました。本誌は技術面でも大いに勉強になりました。

又市街を散策して、感心した。市街がとてもきれいであること。

同僚の一人に思わず、「オイ、ゴミがつかないんだね。」といわれ、見当らない。

今でも共にラケットを握った中国の友人が贈りき、一枚の紙切れをポケットから取り出し、その紙に「早く中国と日本がいつても自由行きあそびようになればいいな」といふ彼の言葉がやけに思い出されな。

アイチのトランス

■営業品目 変圧器・小型モータ・電動工具・タコグラフ・電気暖房機品

愛知電機

春日井市松河戸町3880 486 電話 <0568> 81-2131(代) 電略 ナゴヤ アイチトランス

東京支店・大阪支店・札幌出張所・仙台出張所・福岡出張所・沖縄出張所

